



明けましておめでとうございます。3学期がスタートしました

2026年が幕をあげ、3学期がスタートしました。皆さんはどのような冬休みを過ごしましたか？2学期の終業式で、私は生徒の皆さんに宿題を出しました。それは「新しい年を迎えるにあたり、何か「これに挑戦しよう」というものを掲げてください」というものでした。皆さんはどのような目標を掲げたのでしょうか？

さて、今日から始まった3学期ですが、学校生活では1年の「まとめの学期」とされています。また、次の年度につなげるための「0学期」という言い方がされることもあります。これから成長を重ね、培ってきた力や姿勢を次の年度につなげていけるよう、私たちも尽力していきたいと思えます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

始業式では大きく二つのことを話しました。

- これまで学校行事や日常生活の中で着実に成長してきました。このように成長を重ね、培ってきた力や姿勢を次の年度につなげていくためにも、この3学期はとても大切な学期になります。2学期までに積み重ねてきた挑戦や努力があるからこそ、3学期はその成果が少しずつ形となって表れる時期となります。皆さんが積み重ねてきた努力の一つひとつが今の皆さんを支えています。その努力は貯金と同じです。自分自身のこれまでの歩みを正しく見つめ、今後の自信につなげてほしいと思えます。
- 「心が変われば、行動が変わる。行動が変われば、習慣が変わる。習慣が変われば、運命が変わる。」より良い人生にしていくためには自分自身で自分の心を変えていくこと。それが、態度や行動につながり、望ましい習慣を身につけることになり、その先には、良い人格が出来上がり、良い環境が生まれ、運命が変わり、良い人生になっていくのかもしれない。心、行動、習慣、運命。これを決めるのは基本的には自分自身です。他人が決めることなく、ましてや他人のせいにすることもできません。自分自身が「やろう」という気持ちになれば、良い方向に変わることはできるのです。

2学期の終業式では、各学年の代表がすばらしい発表をしてくれました。改めてその内容を振り返ってほしいと思えます。

1年生の反省

1年

私たち1年生は、2学期の中でいろんなことを学びましたが、反省点も多くありました。その反省点の中でも今回は3つあげたいと思えます。

1つ目は、1年生全体が、各自で時間を見るという意識が少なく、授業前は毎回生安部が呼びかけて気づく人が多いことです。その呼びかけぎりぎりまで喋っている人がいるので、3学期は呼びかけをしなくても一人ひとりが時間を見て行動できたらいいと思います。

2つ目は、忘れ物が多いことです。1年生全体では、授業に必要なものを休み時間に準備しておらず、授業中にロッカーや、教室から近い移動教室の時には教室に取りに戻る、という人が一部いる状況です。3学期には、一人ひとりがそこを直して授業中の忘れ物ゼロを目指したいと思っています。

3つ目は、桜色の挨拶ができていない人とできていない人の差があるということです。今の現状は、桜色の挨拶をしている人が少なく、あいさつの意識が低いことです。これを直すために、呼びかけをしたり、一人ひとりの挨拶への意識が高まっていけると良いと思えます。

このように1年生は、まだまだできていないことがたくさんあるので、3学期で直すことができる部分は、3学期に少しでも直していきたいと思えます。

私も3学期からまた新しいことにチャレンジしていきます。うまくいかないこともあると思うし、失敗することもあると思えます。しかし、自分の可能性も広がっていくと思うので、来年の始業式が待ち遠しいです。

2学期の振り返り

2年

2学期が今日で終わります。2学期全体を振り返ると、大きな行事に向かって頑張れるところやみんなの良いところがたくさん見つかりました。特に修学旅行では、学年全体が時間を見て行動することやすばやく移動することをしっかり身につけていたのですごく良かったです。修学旅行初日の日は、みんなが時間通りに来れているか、きちんとついて来れているかという不安がすごくありました。しかし、時間を見て素早く行動ができていたので安心できました。

他にも合唱コンクールや生徒会役員改選で、団結力や、その目標に対して一緒に学級みんなで頑張るいろいろな良いところがすごく見つかりました。しかし、この頑張りや良いところが普段の学校生活で生かしていないところがあります。時に321運動があまりできていないと思います。321運動は落ち着いた学校生活をつくる基本なので、しっかりメリハリをつけて実行することが学年全体の課題だと考えます。また、私が所属する3組は困っている人を助けて、進んで支えたり声をかけたり、その目標に対して一緒に達成してくれたりするなど、すごく良いところがあります。しかし、321運動が守れていないところがあります。

だから、3学期は、学年全体の課題やクラスの課題が達成できるように日常生活から見直して課題となる321運動を実行させていきたいです。そして、この第2学年が長崎市で一番と言えるような学年にしていきたいです。

2学期の振り返りと3学期の抱負

3年

長い2学期も終わり、新しい年を迎えようとしています。私が2学期を振り返って印象に残っている出来事は合唱コンクールです。私たちのクラスでは「一致団結・心を奏でる」をスローガンに掲げ、練習に励みました。練習では、クラス全員で悪かったことを話し合ってきました。そのおかげで、クラスも一つにまとまることができましたと思います。今年の合唱コンクールでは、1年生や2年生の時には見られなかった声掛けや真剣さが見られ、3年生としての最高の合唱が作れたことが印象に残りました。

また、私は学級委員の仕事にも力を入れてきました。私はもともと声掛けをすることや人をまとめることが苦手でした。しかし、学級委員として避けては通れないことでした。最初は、同声をかけていいのかわからずにいましたが、クラスみんなが私の声かけに優しく反応してくれました。そんなクラスみんなの協力のおかげで次第に自信を持つことができるようになりました。まだ満足はできませんが、最初と比べるととても成長することができました。

さて、まもなく3年生にとって大きな節目、高校入試を迎える3学期がやってきます。私は1年生の時、テストでまったく点数が取れず、5教科の合計が目標とする点数に届きませんでした。しかし、努力することで3年生のテストでは、目標の点数を取れるようになり、志望校を明確にすることができました。私は、志望校合格に向け、中総体が終わってから毎日勉強を続けてきました。3学期も、この努力を続け、絶対に合格したいと思います。そして、3年生にとってクラスメイトとともに過ごす最後の時間でもあります。やり残したことがないようにクラスメイトと過ごす昼休みや授業の時間を大切に過ごしたいと思います。

また、卒業式では3年生の多くがこの学校で過ごせてよかったという終わり方ができるように学校生活を楽しみます。

箱根駅伝から学んだこと

ここ数年、1月2日、3日は箱根駅伝をテレビで見るのが我が家の恒例行事となっています。「一つのタスキをゴールまでつなぐ」という選手一人一人の熱い思いと走る姿に励まされ、「今年も頑張ろう」という気持ちにさせられます。

私事ですが、年末年始を東京で過ごし、初めて往路（第1区）を生で観戦しました。優勝した青山学院大学は、その時は下位を走っていましたが、最終的には総合優勝。大会新記録も達成し、まさに「不可能を可能にする」走りだったと思います。チームを率いる原監督は「チーム力を押し上げるのは“心根の良い人間”」という信念を持っておられるとのことですが、始業式でも話した「心が変われば・・・」を実際に示した結果となったのではないかとと思います。感動とともに、教育という点で学びのある大会だったと感じました。